

福島第一原子力発電所の状況

2016年12月6日
東京電力ホールディングス株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (12/6 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約 2.5 m ³ /h	20.0 °C	0.42 kPa g	A系： 0.00 vol%
		炉心スプレイ系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	給水系：約 2.1 m ³ /h	24.5 °C	5.34 kPa g	A系： 0.02 vol%
		炉心スプレイ系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.01 vol%
3号機	淡水 注入中	給水系：約 1.9 m ³ /h	23.1 °C	0.28 kPa g	A系： 0.03 vol%
		炉心スプレイ系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.04 vol%

・2016/12/5 10:02 頃、3号機復水貯蔵タンク(以下「CST」という)炉注水ポンプ(B)が停止した原因について調査した結果、当該設備制御盤付近で作業していた協力企業作業員の肘が意図せず当該ポンプのスイッチカバーに接触し、その際、当該ポンプのスイッチが停止側に動作したことにより、当該ポンプが停止したものと推定。本事象は機器の故障等により発生したものではなく、人為的事象と判断。

< 2. 使用済燃料プール(SFP)の状況 > (12/6 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	19.3 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	20.3 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	19.4 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	17.8 °C

※ 各号機 SFP および原子炉ウェルヘドランジンの注入を適宜実施。

【1号機】

・2016/11/24～
12/5 二次系冷却設備を1～3号機共用の二次系冷却設備へ変更する工事に伴い、冷却を停止中。当該工事終了に伴い、17:35 に共用の二次系冷却設備による冷却の運用を開始。運用開始後のSFP水温度は 19.0°C(停止時 15.9°C)であり、運転上の制限値(60°C)以下で、SFP 水温度の管理上問題なし。

・2016/12/5 2号機および3号機使用済燃料プール代替冷却系(以下「SFP代替冷却系」)の冷却停止について、SFP代替冷却系のプラントデータを確認したところ、12/4 15:00 頃より、二次冷却系循環ポンプ(A)の吸込圧力が低下していたことが判明。また、12/4 の現場作業状況等について確認した結果、二次冷却系循環ポンプ(A)の吸込圧力が低下したのと同じ時間帯に当社社員が定例パトロールのため、1号機SFP代替冷却系の一次系冷却ポンプ(A)付近で現場確認を行っていたことが判明。当社社員への聞き取りからは、一次系冷却ポンプ(A)軸受冷却水配管に設置されているベント弁に接触した事実は確認できなかったが、当該弁は動作が容易なコック型の弁であり、SFP代替冷却系の共用二次冷却系は試運転中で、当該弁の誤動作を防止するような処置が講じられていない状況。以上のことから、当該弁が「開」状態であった原因については、現場確認中の当社社員が意図せず当該弁に接触したことで、当該弁が「開」方向に若干動いてしまった可能性が高いと判断。再発防止対策として、一次系冷却ポンプ(A)軸受冷却水配管に設置されているベント弁(当該弁を含めて8個)をインシュロック等で固定。また、共用二次冷却系の運用開始後に、ベント配管の先端に閉止プラグの取り付け予定。

< 3. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (12/6 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多 核種 除去設備
運転 状況	停止中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

<4. その他>

- 2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
2016/3/31～ 試験凍結において、ブライン(不凍液)循環設備の健全性の確認等ができたことから、凍結運転(第一段階)を開始。凍結運転は建屋内滞留水と建屋周辺の地下水位が逆転するリスクを低減するため、三段階に分けて実施する計画で、第一段階では1～4号機の海側全面と山側の一部を凍結することで進めていく。
12/3 陸側遮水壁山側の未凍結箇所7箇所のうち2箇所(1号機西側の一部および4号機西側の一部)について、凍結運転(第二段階)を開始。
- 2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- 2016/10/5～ 1号機タービン建屋滞留水処理を進めるため、1号機主復水器内滞留水を1号機廃棄物処理建屋へ移送実施中。

【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

- 2015/7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。
- 2016/9/13 建屋カバー壁パネルの取り外し作業を開始。11/10 に全ての壁パネルの取り外し作業が終了。

【サブドレン他水処理施設の状況】

- 2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。
9/17～ 地下水のくみ上げを昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え。
- サブドレン他水処理施設一時貯水タンクEの分析結果[採取日 11/29]について、運用目標値を満足していることを確認したことから、12/5 10:02～16:56 海洋への排水を実施。排水量 1,002 m³
- サブドレン他水処理施設一時貯水タンクFの分析結果[採取日 12/1]について、運用目標値を満足していることを確認したことから、12/7 海洋への排水を実施予定。
- 2016/12/6 6:43 頃、サブドレン浄化建屋において、漏えい検知器が動作したことを示す「B系サブドレン処理吸着塔スキッドB漏えい」の警報が発生。当社社員が現場確認したところ、サブドレン吸着塔 No.5 入口配管から水が滴下していることを確認。警報発生後、6:45 頃に当該サブドレン浄化設備を停止し、7:28 に滴下が停止したことを確認。なお、漏えい範囲は約5m×2m×深さ2mm(約20L)で堰内に留まっており、外部への流出はなし。水の滴下は、サブドレン吸着塔 No.5B入口配管に接続されている金属製フレキシブルホースから発生したものと考えられ、滴下が確認された当該ホースは交換。滴下した水については回収済み。その他の金属製フレキシブルホースについても確認したところ、サブドレン吸着塔 No.5B出口配管およびNo.1B出口配管の保温材が濡れていることを確認したため、滴下は確認されていないものの、念のため当該ホースを交換予定。

【地下水バイパスの状況】

- 地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
- 地下水バイパス一時貯留タンク分析結果(Gr1)の分析結果[採取日 11/24]について、運用目標値を満足していることを確認したことから、12/6 10:09～海洋への排水を実施。

【1～3号機放水路の状況】

※1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

<最新のサンプリング実績>

- 至近の測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4・H6エリア周辺、福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- 至近の測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔・海水サンプリング実績>

- 至近の測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

- 地下貯水槽 No.2 の滞留水については、汚染水保有リスクを低減するため、6/1 10:05 当該地下貯水槽から多核種除去設備への移送を開始。なお、当該地下貯水槽には、約 1,400m³ の汚染水を貯留しているが、本移送においては、多核種除去設備での処理状況や受入タンク側の空き容量も考慮しながら、既設ポンプによる

移送が可能な水位まで、断続的に移送を実施する予定。

- ・3/1 に採取した地下貯水槽 No.1周辺の観測孔A11～17 の地下水を分析した結果、前回値(2/2 採取)の全ベータ放射能が ND (ND 値 22Bq/L)であったのに対し、最大で 200Bq/L に上昇していることを確認。なお、当該観測孔は3年前に地下貯水槽からの漏えいが確認された以降、NDだったが、全ベータ放射能の上昇が確認されたことから、漏えいの可能性も含めて調査を実施していく。

<最新のサンプリング実績>

地下貯水槽周辺の観測孔全ベータ放射能が上昇した件について、12/5 に採取した i ～iii 観測孔の水の全ベータ放射能分析結果は、至近の分析値と比較して有意な変動は確認されていない。

また、その他の分析結果について有意な変動は確認されていない。引き続き、地下貯水槽および周辺の観測孔について監視を継続する。

以 上